



## バーゼルワールド2017

### パテック フィリップ ジュネーブ

#### パテック フィリップ・カラトラバ《アズレージョ》5089Gモデル 七宝細密画により再現された他に類を見ないモチーフ

パテック フィリップは、今年のバーゼルワールド2017で、伝説的な超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー240と《希少なハンドクラフト》を融合した2つのカラトラバ限定製作モデルを発表する。《希少なハンドクラフト》とは彫金、七宝、ギョッシュェ装飾など、世代から世代へと受け継がれてきた歴史ある装飾技術であり、これらを消滅の危機から救うため、パテック フィリップは長年にわたりこれらを保護育成してきた。新しいカラトラバ《アズレージョ》5089G-061および5089G-062モデルは、十八～十九世紀にジュネーブが中心地としてその名を世界に轟かせた七宝細密画芸術に捧げられており、《アズレージョ》のモチーフを文字盤上に再現した初めてのモデルである。

アズレージョは、アラビアを起源とし、ポルトガルとスペイン南部において国民的芸術として栄えたものである。これは個別に着色された多数のセラミック・タイルをモザイクのように組み合わせたもので、豪華な宮殿の内壁装飾として、または一般的な建物の外壁装飾としてもごく一般的に使用されてきた。この驚くべき工芸技術は、温度差、太陽光線、豪雨、塩分を含んだ大気などの天変地異に長期にわたって耐えることができる。アズレージョには多色あるいは単色があり、後者の場合はブルーが多く用いられる。パテック フィリップのクリエイティブ・ディレクター、サンドリン・スターン女史は、この工芸技術を七宝細密画の技法で再現することに情熱をかけてきた。それは真のチャレンジであり、希少なハンドクラフトのひとつに数えられるこの工芸技術に、新たな次元を開くものだからである。スターン女史は、夫のティエリー・スターン社長と共に、希少なハンドクラフトに属する2種類の腕時計を創作することを決定した。文字盤は、ブルーのニュアンスによるアズレージョのモチーフを七宝細密画の技法で文字盤上に再現している。

#### 文字盤の芸術

2種類のモデルの文字盤上に、アズレージョのモチーフ（5089G-061モデル：テージュ河の漁風景、5089G-062モデル：魚市場風景）を、ブルーのニュアンスにより微小なディテールまで忠実に七宝細密画の技法で再現することは、高度な技術を必要とする。《カンバス》となるのは、薄い18金ゴールドの丸いディスクである。先ずディスクの裏面に釉薬を塗り、加熱して、裏引ききというものを形成する。これはディスクを繰り返し800～850℃に加熱してもディスクが反ったり表面の七宝が割れないようにするためである。次いで表面に白い釉薬を施す。その上にニュアンスの異なるブルーの釉薬により、何層にもわたり、実物のアズレージョを手本とし、これを縮小してできるだけ忠実に微細なモチーフを描いていく。実際に無数のタイルが組み合わせられているような印象を与えるため、立体感まで平面上に再現する。パテック フィリップのエンブレムと《email》の文字もテーマと同じブルーで描かれる。極細にいたるディテールを再現するため、貂（テン）の毛1本のみでできた筆を使用する。釉薬は、酸化金属を含んだ珪素の粉末と油を混ぜて、意図したニュアンスが出るように調製する。このためには、加熱前と加熱後の色の変化（酸化金属毎に異なる）を熟知している必要がある。さまざまなニュアンスのブルーの釉薬を施したディスクは、一回の彩色毎に炉で加熱する。わずかな加熱ミスでも、これまでの努力の成果が無に帰することになる。加熱する回数は約12回におよぶ。加熱後は、毎回、七宝の層に歪みや亀裂が生じないように、室温までゆっくりと冷却する。



## ケースとムーブメントの芸術

希少な七宝細密画の文字盤にすべての注意を集めるため、2種類のモデルは、ピュアでクラシックなラウンド型の18金ホワイトゴールド仕様のケースとなっている。ケース本体と、ポリッシュ仕上げのフラット・ベゼルとラグの間には微小な溝が刻まれている。やはりシンプルな《ドフィース型》18金ホワイトゴールドの時、分針は、5089G-061モデルではホワイトゴールドのまま、5089G-062モデルではブルーのPVD処理が施されている。搭載された超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー240は、最高の信頼性を保証している。ムーブメントの厚さを最小に抑えるため、22金偏心マイクロローターはムーブメントの中に完全に統合されている。2017年の今年、誕生40周を迎えるキャリバー240は、スイス時計産業界で最も厳格とされるパテック フィリップ・シールの認定規準に準拠して製作されている。計時精度は-3/+2秒以内の日差をクリアし、縁はすべて面取り、ポリッシュ仕上げされ、受け（ブリッジ）にはコート・ド・ジュネーブとゴールドの刻印が施されている。ムーブメントの精緻な仕上がりをサファイヤクリスタル・バックを通して鑑賞することができる。またサファイヤクリスタル・バックは、18金ホワイトゴールドのヒンジ付カバーにより保護されている。この希少なタイムピースには、18金ホワイトゴールドのピンバックル付の、ブリリアント・ブラックのラージ・スクエア・アリゲーター・バンドが装着されている。

《アズレージョ》のモチーフを七宝細密画の技法で文字盤上に再現し、誕生40周を迎える超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー240を搭載した新しい5089Gモデルは、高級タイムピースの愛好家、コレクターから最高の評価を受けているパテック フィリップの2つの専門分野を統合している。限定製作モデルではあるが、これらのモデルの文字盤はすべてが手づくりなため、一つひとつが異なったユニークピースであることは特筆すべきであろう。

### 《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

A D & P R ディレクター

大塚和泉

電 話：03-5209-8018 (直通)

F A X：03-3256-7558

izumi@ppjapan.com

### 《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電 話：03-3255-8109

### 《パテック フィリップ ホームページ》

<http://www.patek.com> (英語)





## 技術仕様

### パテック フィリップ・カラトラバ《アズレージョ》5089G モデル

|           |   |
|-----------|---|
| ムーブメント    | キャリバー240<br>超薄型自動巻ムーブメント  |
| 直径：       | 27.5 mm   |
| 厚さ：       | 2.53 mm   |
| 部品総数：     | 161個  |
| 石数：       | 27石   |
| 連続駆動可能時間： | 最小48時間  |
| 巻上げローター：  | 単方向巻上げ式22金偏心マイクロローター  |
| テンプ：      | Gyromax®  |
| 振動数：      | 21,600 振動（片道）／時（3 Hz）   |
| 髭ぜんまい：    | Spiromax®（Silinvar®製）   |
| 髭持ち：      | 可動式   |
| セッティング機能： | リュウズの2位置<br>・押し込んだ位置： ぜんまいの巻き上げ<br>・引き出した位置： 時刻合わせ  |
| 表示：       | 時針、分針   |
| 認定印：      | パテック フィリップ・シール  |
| 外装        |   |
| ケース：      | 18金ホワイトゴールド、サファイヤクリスタル・ガラス、<br>サファイヤクリスタル・バックとこれを保護するヒンジ付カバー、3気圧防水  |
| ケースサイズ：   | 直径（10時～4時）：38.6 mm<br>幅（9時～3時）：40.55 mm（リュウズを含む）<br>長さ（ラグ～ラグ）：45.9 mm<br>厚さ（サファイヤクリスタル・ガラス～ラグ）：9.17 mm<br>厚さ（サファイヤクリスタル・ガラス～サファイヤクリスタル・バック）：9.0 mm<br>ラグ間隔：21 mm          |
| 文字盤：      | 18金ホワイトゴールドの文字盤プレート、《アズレージョ》七宝細密画<br>・5089G-061 モデル：テージョ河の漁風景<br>・5089G-062 モデル：魚市場風景<br>《ドフィーヌ型》時、分針<br>・5089G-061 モデル：18金ホワイトゴールド<br>・5089G-062 モデル：ブルーPVD処理18金ホワイトゴールド |
| バンド：      | ラージ・スクエアのハンドステッチ・アリゲーター・バンド、<br>カラーはブリリアント・ブラック<br>18金ホワイトゴールド・ピンバックル（21 mm）  |